

Camellens

道内初導入

*2023年8月より受付開始


アドオンレンズ

日帰りの手術
早期職場復帰


快適な裸眼生活
を目指して

白内障術後の方のための
度数を調整する追加挿入型の眼内レンズ手術のご紹介


こんな悩みに対応できる治療です




前に健康保険で通常の単焦点レンズの白内障手術をしたけれど、最近は見え方がよくない。多焦点レンズにして老眼も改善させれば良かったかなあ。老眼治したい！



でも手術は大変？入院も必要かな？仕事もあまり休めないんだけれどな。ちなみに乱視もあるみたいなんだけど、諸々大丈夫かな？



白内障手術をした後でも、追加の多焦点レンズ（アドオン）を挿入して老眼を改善させることができますよ！



日帰りで15分程度です。早期の社会復帰や運転が可能です。乱視対応のレンズもありますので乱視も矯正可能です。



③	①
④	②

—Add on lens(アドオンレンズ)とは—

- Add on(アドオン)レンズは、以前に白内障の手術を受けた目に対して「追加で挿入できる度数調整の眼内レンズ」です。
- 単焦点眼内レンズで白内障手術を受けられた方で、老眼鏡の使用頻度を減らしたいという場合には多焦点のアドオンレンズもごさいます(元の単焦点レンズを多焦点化)。
- 白内障手術後に後発的に出て来てしまった近視や遠視、更に乱視も矯正することが出来ます(元々挿入された単焦点レンズを度数調整)。

ケース別：こんな方にお勧めです

以前に単焦点眼内レンズを入れた方

ケース(1)

術後は良かったが、数年してから、

- ①乱視が強くなり、裸眼で遠くが見えづらくなった。
- ②遠視が強くなり、遠くも近くも見えづらくなった。



乱視や遠視を単焦点アドオンレンズで矯正することができます。裸眼視力向上が期待できます。

ケース(2)

単焦点レンズで手術したが、眼鏡の使用頻度を減らすために、やっぱり多焦点にしたい。



多焦点アドオンレンズを挿入することで老眼を改善させ眼鏡の使用頻度を減らすことが期待できます。

以前に多焦点眼内レンズを入れた方

ケース(1)

術後は良かったが、数ヶ月数年してから、

- ①乱視が強くなり、遠くも近くも見えづらくなった。
- ②遠視や近視が強くなり、裸眼で見えづらくなった。

ケース(2)

過去に多焦点レンズでの白内障手術を受けたが、術後すぐに度数ずれがあり、最初からよく見えなかった。



乱視や遠視を単焦点アドオンレンズで矯正することができます。

本来の多焦点眼内レンズの持つ力(遠くも近くも裸眼で見えやすい)を引き出し、眼鏡の使用頻度を減らすことが期待できます。

当院で使用できるアドオンレンズ

イタリアのSOLEKO社が開発したCamel(キャメル)レンズ

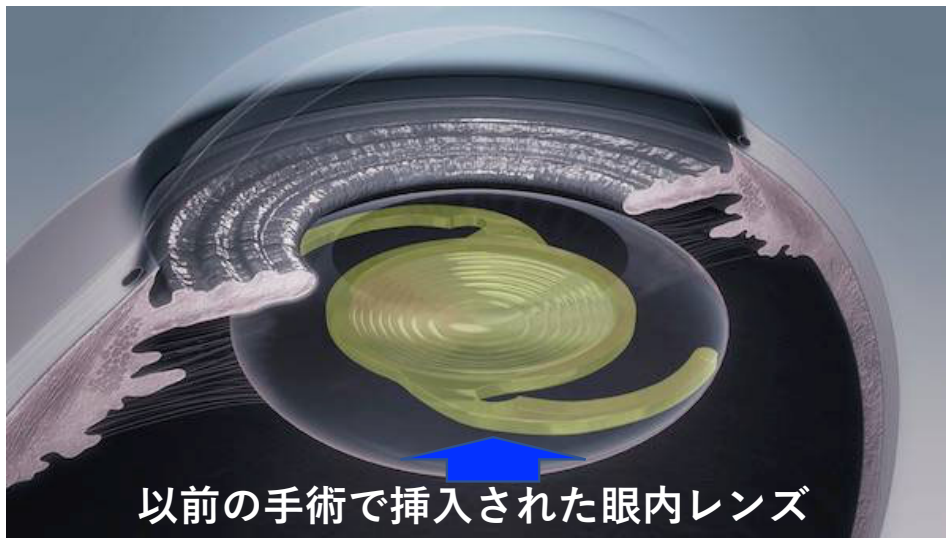


オロロンライン眼科がCamellensを道内初導入

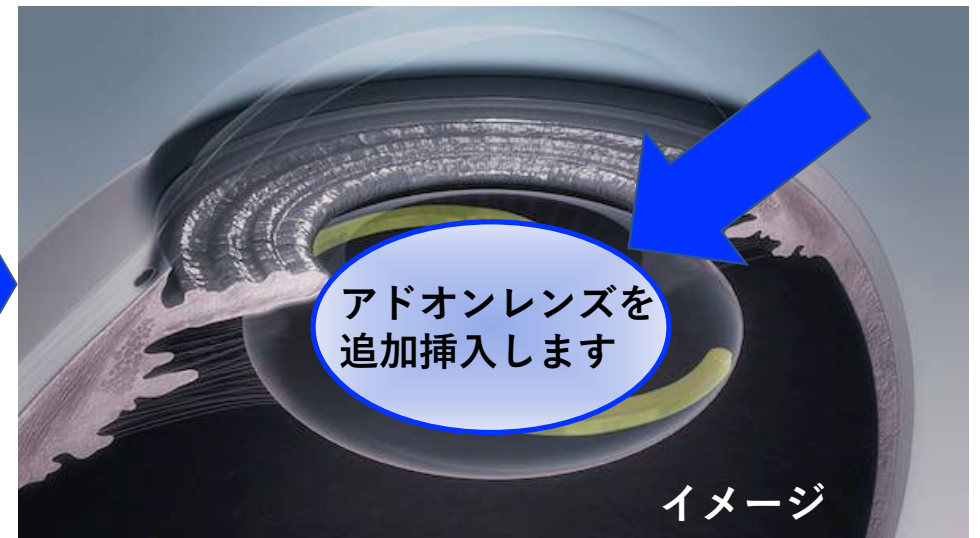
* 2023年7月末時点

どんな手術になるの？

術前



術後



- 点眼で瞳孔を開き、点眼麻酔を行います
- この点眼麻酔により手術中の痛みは無く安心して手術を受けることができます。
- 手術中もメスや器具は見えませんので、恐ろしくありません。

- 以前の眼内レンズの上にアドオンレンズを設置
- *元の眼内レンズは取り出したりはしませんので手術侵襲や合併症がレンズ入れ替え術より少ない。
- 手術時間は15分前後と短時間で施行可能です。
- 術翌日には眼帯が外れます。軽作業であれば翌日から職場復帰や運転も可能です。

— 片眼の料金(全て自費)について —

* 術前検査 + 手術 + 術後 3 ヶ月前の診察・投薬量込みの税込価格です

他院で白内障手術を受けられた方

単焦点をアドオン
275,000円(税込)

単焦点 + 乱視をアドオン
330,000円(税込)

多焦点をアドオン
385,000円(税込)

多焦点 + 乱視をアドオン
440,000円(税込)

以前に当院で白内障手術を受けられた眼にAdd onする場合

単焦点をアドオン
255,000円(税込)

単焦点 + 乱視をアドオン
310,000円(税込)

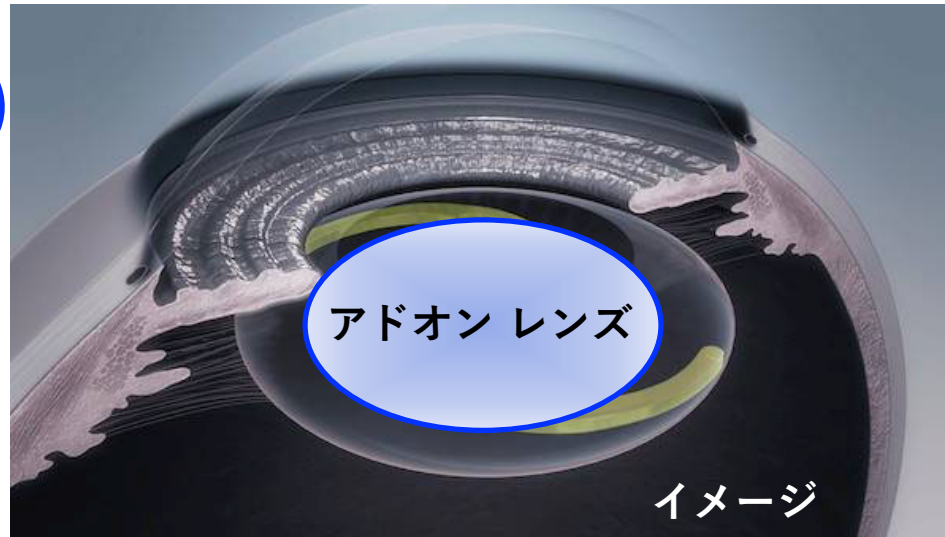
多焦点をアドオン
365,000円(税込)

多焦点 + 乱視をアドオン
420,000円(税込)

アドオンレンズのメリット

乱視・近視・遠視
を矯正（改善）

日帰り手術
早期職場復帰



多焦点レンズ
対応(老眼改善)

快適な裸眼生活
を目指して

* 自費での診療になります。

オロロンライン眼科がCamellensを道内初導入

* 2023年7月末時点

アドオンレンズの 留意点

- 多焦点レンズを挿入する場合は、多焦点レンズの特性として①夜間運転時の光の散乱現象(ハロー・グレア)や②暗い場所での見え方の質の低下がございますことをあらかじめご理解の上、治療を受けて下さい。
- 必ず裸眼で生活できることをお約束する手術ではございません。術後見え方が不十分と感じる方は追加で眼鏡やコンタクトレンズが必要になることもありますことをご理解下さい。
- 近方は約45cmまで見えることが期待できますが、見る文章のフォントやシチュエーションによっては老眼鏡が必要になることがあります。
- 元々挿入されている眼内レンズの劣化による混濁・傾斜・偏位があると適応外になることが有ります。
- 近視・遠視・乱視の矯正には限界があるため、極端な度数ズレでは適応外になることが有ります。
- 元々眼疾患(緑内障、一部の網膜・角膜疾患など)により多焦点アドオンレンズの適応外となることが有ります。
- 通常の白内障手術同様に、術後の合併症リスク(術後一過性の高眼圧・感染症(1/5000))が有ります。
- アドオンレンズでも「完全に」近視・遠視・乱視は矯正することは出来ません。
- アドオンレンズで矯正しても、その後の加齢による乱視の変化は起きます(個人差があります)。
- 治療後の見え方に満足できない場合はアドオンレンズを取り出すことが出来ますが、追加で自費の料金がかかります(手術・術後3ヶ月の診療を合わせて10万円(税込))。アドオンレンズを取り出した後に、切開創の影響で術前より乱視が強くなり裸眼視力が低下することがあります。
- 完全に自費での診療になり、成約時に手術費用の半額を頂戴致します。キャンセルで払い戻しは出来ません。
- 上記を含む医師の説明をご理解できない方は適応外となります。